



平成26年7月14日

各 位

会社名 松竹株式会社  
代表者名 代表取締役社長 迫本淳一  
(コード番号：9601 東証第一部、札証、福証)  
問合せ先 取締役 関根 康  
(TEL 03-5550-1699)

(訂正)

「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

平成25年4月15日に開示いたしました「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

連結財務諸表の「連結貸借対照表」に関連して、記載に一部誤りがありましたので訂正を行うものです。

## 2. 訂正の内容

### 添付資料4ページ

#### 1. 経営成績・財政状態に関する分析

##### (2) 財政状態に関する分析

###### 資産、負債及び純資産の状況

###### (訂正前)

当連結会計年度末における総資産合計は、前連結会計年度末に比べ31,092百万円増加し、203,026百万円となりました。これは主に現金及び預金、現金及び預金（責任財産限定対象）、信託建物及び信託構築物（責任財産限定対象）及び投資有価証券の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ29,139百万円増加し、136,786百万円となりました。これは主に短期借入金、長期借入金及び長期借入金（責任財産限定）の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,953百万円増加し、66,240百万円となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

###### (訂正後)

当連結会計年度末における総資産合計は、前連結会計年度末に比べ31,092百万円増加し、203,026百万円となりました。これは主に現金及び預金、現金及び預金（責任財産限定対象）、建物及び構築物（責任財産限定対象）及び投資有価証券の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ29,139百万円増加し、136,786百万円となりました。これは主に短期借入金、長期借入金及び長期借入金（責任財産限定）の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,953百万円増加し、66,240百万円となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

添付資料 10 ページ

4 . 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成 24 年 2 月 29 日)	当連結会計年度 (平成 25 年 2 月 28 日)
固定資産		
有形固定資産		
(中略)		
信託建物及び信託構築物(責任財産限定対象)	20,393,332	42,814,064
減価償却累計額	6,888,336	7,580,649
信託建物及び信託構築物(責任財産限定対象) (純額)	13,504,996	35,233,414
(中略)		
有形固定資産合計	103,368,666	117,168,665

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成 24 年 2 月 29 日)	当連結会計年度 (平成 25 年 2 月 28 日)
固定資産		
有形固定資産		
(中略)		
建物及び構築物(責任財産限定対象)	-	22,415,742
減価償却累計額	-	-
建物及び構築物(責任財産限定対象)(純額)	-	22,415,742
信託建物(責任財産限定対象)	20,393,332	20,398,321
減価償却累計額	6,888,336	7,580,649
信託建物(責任財産限定対象)(純額)	13,504,996	12,817,672
(中略)		
有形固定資産合計	103,368,666	117,168,665

添付資料 22 ページ

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

4. 会計処理基準に関する事項

(8) 不動産等を信託財産とする信託受益権に関する会計処理方法

(訂正前)

保有する不動産等を信託財産とする信託受益権につきましては、信託財産内のすべての資産及び負債勘定並びに信託財産に生じたすべての収益及び費用勘定について、連結貸借対照表及び連結損益計算書の該当勘定科目に計上しております。

なお、該当勘定科目に計上した信託財産のうち重要性がある下記の科目については、連結貸借対照表において区分掲記することとしております。

信託預金（責任財産限定対象）

信託建物及び信託構築物（責任財産限定対象）

信託土地（責任財産限定対象）

(訂正後)

保有する不動産等を信託財産とする信託受益権につきましては、信託財産内のすべての資産及び負債勘定並びに信託財産に生じたすべての収益及び費用勘定について、連結貸借対照表及び連結損益計算書の該当勘定科目に計上しております。

なお、該当勘定科目に計上した信託財産のうち重要性がある下記の科目については、連結貸借対照表において区分掲記することとしております。

信託預金（責任財産限定対象）

信託建物（責任財産限定対象）

信託土地（責任財産限定対象）

添付資料 22 ページ

(7) 表示方法の変更

(訂正前)

（連結貸借対照表）

前連結会計年度に区分掲記しておりました「信託建物（責任財産限定対象）」は、当連結会計年度において新たに信託構築物の残高が 91,457 千円発生したため、「信託建物及び信託構築物（責任財産限定対象）」として表示しております。

(訂正後)

記載なし。

添付資料 24 ページ

(9) 連結財務諸表に関する注記事項

(連結損益計算書関係)

(訂正前)

4. 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成 23 年 3 月 1 日 至 平成 24 年 2 月 29 日)	当連結会計年度 (自 平成 24 年 3 月 1 日 至 平成 25 年 2 月 28 日)
建物及び構築物	2,038 千円	114,037 千円
信託建物及び信託構築物(責任財産 限定対象)	-	2,574
(後略)		

(訂正後)

4. 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成 23 年 3 月 1 日 至 平成 24 年 2 月 29 日)	当連結会計年度 (自 平成 24 年 3 月 1 日 至 平成 25 年 2 月 28 日)
建物及び構築物	2,038 千円	114,037 千円
信託建物(責任財産限定対象)	-	2,574
(後略)		

以上